

本市のみどりの課題

現行計画における基本施策の枠組みをもとに、本市における面的・点的なみどりを「保全」「充実」「創出」する視点と、これらのみどりをつなげる「ネットワーク」の視点からみどりの課題を整理するとともに、市民・企業・学校法人などがかかわる「協働」の視点を含めた5つの区分に応じたみどりの課題を整理した。

表 課題一覧

みどりに関する取組	課題の項目
1. みどりの保全	①淀川（淀川河川公園）
	②河川・水路
	③東部丘陵地など市内に残存する樹林地
	④大規模公園等（総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地）
	⑤社寺林・保存樹
	⑥旧集落地のみどり
	⑦歴史街道など
	⑧良好な住宅地のみどり
	⑨農地
	⑩ため池
2. みどりの充実	①大規模公園等（総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地）
	②都市公園等（住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場）
	③学校グラウンド、公共公益施設等
	④緑道（友呂岐緑地など）
	⑤幹線道路とその沿道地のみどり
	⑥河川・水路
	⑦住宅地（全般）のみどり
	⑧商業・業務地のみどり
	⑨住工共存地のみどり
3. みどりの創出	①都市公園等（住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場）
	②密集住宅地区のみどり
	③まちづくり計画におけるみどり
4. みどりのネットワーク	①水辺空間や歴史街道を活かしたネットワークの充実
	②主要な幹線道路によるネットワークの充実
	③サクラ街道による新たなネットワークの創出
5. 協働のみどり	①市民等との協働によるみどりづくり
	②企業との協働によるみどりづくり
	③学校法人等との協働によるみどりづくり
	④多様な主体との連携によるみどりづくり
	⑤みどりの普及・啓発活動

1. みどりの保全

①淀川(淀川河川公園)

- 自然的な都市の骨格や、広大で自然豊かな水辺景観を形成している。
- 複数の都市にまたがる広域的なレクリエーションの場として利用され、災害時には広域避難地となる。
- 河川、公園整備などによる水域と陸域が分断されたことにより、ワンドの減少やヨシ原が消失するなど、生物の生息・生育環境は大きく劣化してきており、多くの固有種の絶滅が危惧されている。
- 淀川河川公園において、市民や大学等と連携した親水空間整備等の協働の取り組みが展開されている。
- 本市における印象的なみどりとして、市民から認識されている。

【課題】自然・歴史・文化が色づく空間としての維持保全

本市を代表する自然・レクリエーション空間であるとともに、大阪と京都を結ぶ京街道や、過去の大洪水を物語る茨田堤碑（まんだのつつみひ）、または淀川から農業用水などを引き込んでいた茨田樋之跡石碑（まんだひのあとせきひ）があるなど、自然・歴史・文化が色づく貴重な空間として、引き続き保全していく必要がある。

【課題】市民の利活用の場と生物の生息・生育環境の両立

健康づくりや文化活動、自然とのふれあいなどの余暇活動の場としての役割のほか、特徴のある水辺の景観の保全や、川にまつわる歴史・文化資源を活かす、都市の防災性を向上させる、川と人をつなげるなど「都市の水辺」として市民の利活用の場となることと、生物多様性保全などの視点から絶滅危惧種をはじめとする貴重な生物の生息・生育環境の両立が求められている。

【課題】市民や周辺市町村との連携の取り組みへの展開

親水空間整備等の市民協働の取り組みや、流域連携協議会など周辺市町村等との連携による取り組みの展開が求められる。

②河川・水路

- 本市域には、一級河川淀川や寝屋川などとともに、西部地域には農業用水機能や雨水排水機能を有する水路が張り巡らされている。
- 寝屋川や一部水路に、大阪府レッドデータブックでは絶滅危惧種とされていたコウガイモや環境省レッドリストで絶滅危惧種Ⅱ類等に指定されているミズアオイの自生が確認されている。
- 寝屋川再生ワークショップ（ねや川水辺クラブ）においては、水辺の生きもの観察などの環境学習の場として活用されるとともに、河川の水質改善や、外来種の駆除、絶滅危惧種の保護などの環境保全活動が行われている。

【課題】 貴重な生物の生育・生息環境としての水辺空間の保全

絶滅危惧種をはじめとする貴重な生物の生息・生育環境として水辺環境の維持保全が求められる。

【課題】 寝屋川市らしい特徴的な都市景観の保全

都市景観形成に貢献するみどりの資源として保全する必要がある。

③東部丘陵地など市内に残存する樹林地

- 交野市との市境界付近において、北河内唯一の古墳時代終末期に属する国指定文化財の石宝殿古墳（いしのほうでんこふん）や打上神社などと一体的な樹林地が存在している。
- 打上公園においては、これらのみどりと繋がりを持った新たな散策路が整備され、市民に親しまれている。
- 市域には、東部地域を中心に地域計画対象民有林が存在しているが、平成12年と比較して約40haが減少している。
- 第二京阪道路の東部地域は、市景観基本計画における生駒やまなみ緑地軸景観重点地区に指定されており、「やまなみの豊かなみどりを保全・育成するとともに、背景となるやまなみと山麓部のまちなみが織りなす調和のとれた雄大な景観を守り、育てる」としている。

【課題】 生物多様性が確保された貴重な樹林地、歴史資源と一体的な樹林地景観の向上

今後、人手不足や担い手不足などの要因により、適切な樹林地の管理が行われず、多様な動植物の生息・生育環境となる自然環境の悪化が懸念される。これに伴う歴史資源と一体となった樹林地景観の質の低下が懸念される。

【課題】 民間開発などにより減少する貴重な樹林地の保全

民間開発の進行等に伴い、山林の切り崩しや樹林地の樹木の伐採が行われるなど、市域に存する貴重な樹林地が年々減少していることから、これらの維持保全が求められる。

④大規模公園等(総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地)

- 生物の生息・生育環境や市街地の背景となるみどりの核となっている。
- 自然豊かな環境を有していることから、生物の生息・生育空間やヒートアイランド現象を緩和する機能などを有している。
- 広域的なレクリエーション拠点として、多くの市民に利用されるとともに、印象的なみどりとして認識されており、寝屋川公園では歴史文化財（寝屋古墳）が保護されている。
- 災害時には広域避難地や一時避難地、後方支援活動拠点となる。

【課題】 広大な自然環境をはじめとする多様な機能を有するみどりとして保全

本市の魅力を高める「都市の森」として、生物多様性、ヒートアイランド現象の緩和、歴史・文化資源の保全・活用、自然とのふれあい、健康づくり等のレクリエーション、景観の保全、防災など、多様な機能を有するみどりとして保全が求められる。

⑤社寺林・保存樹

- 高宮廃寺や打上神社、石宝殿古墳の周辺には、樹林地など歴史資源と一体となった貴重なみどりが存在する。
- 神田天満宮のクスノキ、春日神社のシイの社叢(しゃそう)は、大阪府指定の文化財（天然記念物）として指定されている。
- その他、社寺林の中には、保存樹に指定されているものが多数存在する。
- 市民が自然やみどりにふれあえる身近な場所として、地域のシンボルとなっている。
- 萱島駅構内のクスノキなどのシンボルとなる緑を活かした景観形成などに取組んでいる。
- 市では、昭和 56 年から保存樹維持管理助成事業や保存樹枯損防止助成事業による保全施策を展開している。

【課題】 歴史資源等と一体となったみどりの保全

歴史文化と一体となったみどりは、都市景観形成にも貢献するみどりとして引き続き保全することが求められる。

【課題】 社寺林・保存樹の保全

社寺林や保存樹などは、開発などにより喪失すると復元することは困難となる。

他都市では、所有者の高齢化などにより維持管理が困難となったことなどを受けて、保存樹指定を解除し伐採するケースも見受けられるため、適正な維持管理を促進する取り組みを継続することにより、社寺林・保存樹を保全することが求められる。

⑥旧集落地のみどり

- 歴史資産や社寺林や保存樹などのみどりと一体となって古くからのまちなみ残り、うるおいのある環境と景観が保持されている。
- 水路・河川やため池、農地と一体となって本市の貴重な田園景観や自然景観を形成している。
- 旧集落地の中には、新寝屋川八景に指定されている寝屋のまちなみなどが存在する。
- 歴史の面影が残る集落内の細い道は、落ち着いたまちなみを形成している。その一方で、狭隘な生活道路として、防災上の問題を改善するため、生活道路の拡幅事業などに取り組んでいる。

【課題】歴史文化漂うまちなみへの展開

歴史的なまちなみが残された集落では、歴史資源と調和した社寺林や屋敷林などが残されていることから、地域のシンボルとなる貴重なみどりを有する歴史文化漂うまちなみとして保全することが求められる。

⑦歴史街道など

- 京街道や東高野街道をはじめ、市内には歴史文化資源、みどりの資源を結ぶ歴史街道や文化財、寝屋などに残る歴史あるまちなみが存在している。

【課題】歴史・文化漂うまちの雰囲気づくり

本市には、国、府、市指定の史跡、文化財が点在しており、歴史文化資と一体となったみどりが存在することから、歴史文化漂うまちの雰囲気づくりに向けて、今後も保全することが求められる。

⑧良好な住宅地のみどり

- 東部地域などにおいて、みどり豊かで閑静な住宅地が広く形成されている。
- 地区計画制度を活用した良好な住環境の保全が図られている。

【課題】良好な住宅地におけるみどりの保全

住宅敷地内の樹木が良好に生長し、みどり豊かなまちなみを形成しているが、所有者の高齢化に伴う維持管理不足が進むなど、良好なみどりの喪失や質の低下が懸念される。

⑨農地

- 都市計画による区域区分の見直しや第二京阪道路沿道まちづくりなどによる市街地開発事業の実施により、市街化調整区域内農地が減少してきた。
- 市街化調整区域内農地は、大阪府による農空間保全地域に指定されており、第二京阪道路沿道では、地権者等による農地保全に向けた検討が進められている。
- 市民・学校給食に安全で安心な地元農産物を供給する「地産地消」の取組を推進している。また、「防災協力農地登録制度」、レンゲ等を植栽した農地を開放する「農地景観形成推進事業」など、農地の多面的機能を活かした事業を推進している。
- また、担い手の不足などによる耕作放棄地の増加に伴う生物の生育・生息環境や景観面での質の低下が懸念される。

【課題】生産緑地地区や市街化調整区域農地の保全

市街化調整区域内農地については、資材置場への転用など無秩序な開発を防止するとともに、計画的に農地を保全する必要がある。

また、市街化区域内に存する農地では、今後の開発進行による減少や、平成4年の当初指定から30年を経過する生産緑地の買取申出が増加することなどによる減少が想定されることから、生産緑地法の改正に伴う買取申出期限の延長や、面積用件の緩和に伴う追加指定の検討が求められる。

【課題】農地が有する多面的な機能の質の確保

農業の営みの場としてのみならず、農地の多面的な機能を活かした自然環境の保全、防災、自然景観の形成等に貢献する機能を確保するため、遊休農地の解消や担い手の確保などが求められる。

⑩ため池

- 山新池、大谷池、国松こも池、成田公園三ツ池、秦新宮池など、水と親しめる快適な環境や、魚、鳥、水辺植物などの自然環境を育む水辺として存在する。

【課題】ため池の減少及び多面的な機能の質の確保

主に農業用水の確保のほか、生物の生息環境、都市の中の水辺景観、田園景観の構成要素として多様な役割を果たしており、農地の減少に伴うため池の減少や、多面的な機能の低下が懸念されることから、耐震性調査を実施するなど、ため池の多面的機能の保全に向けた適正な維持管理が求められる。

2. みどりの充実

①大規模公園等(総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地)

- 打上川治水緑地では、毎年寝屋川まつりや農業まつりなどの各種イベントが開催されるとともに、平成 28 年度より寝屋川市サクラ☆プロジェクトによる遊歩道沿いの桜のライトアップが開催されるなど、まちの魅力向上を図るシティプロモーションに取り組んでいる。
- 寝屋川公園の未開設区域は、大阪府において都市計画公園見直し対象区域として検討が進められている。
- 平成 9 年のなみはや国体会場であった寝屋川公園の運動施設は、設置後 20 年程度が経過したことにより老朽化が進む中でも日常的な維持管理により施設レベルは維持されているが、咲洲、舞洲グラウンドの整備とともに市民ニーズの変化などを受けて、利用者数が減少してきている。老朽化が進む寝屋川公園の運動施設は、市民ニーズの変化などを受けて、利用者数が減少してきている。
- 市民アンケートでは、市内の公園緑地のうち打上川治水緑地が最も利用されている。

【課題】本市の魅力をもつみどりとして市民の多様なニーズへ対応

本市の魅力をもつ「都市の森」として、自然とのふれあい、健康づくり、水辺の景観の保全、川にまつわる歴史・文化資源の活用促進、地域コミュニティの形成、避難地等としての機能充実とアクセスの確保や安全・安心な利用環境の確保など、みどりの視点から市民の多様なニーズに応えることが求められる。

【課題】まちづくりの観点などから寝屋川公園のあり方の検討

みどりの骨格に位置付けられる広域公園としての在り方について、JR 東寝屋川駅周辺地域におけるまちづくりや、広域避難地、後方活動拠点等の防災上の視点などから、大阪府との協議を行い、今後の整備の方向性や施設のリニューアルなどについて検討する必要がある。

②都市公園等(住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場)

- 日常的なレクレーションや生物の生息・生育環境の場として各地に配置されている。
- 災害時には一時避難地となる。
- 都市公園等の多くは平成以前に整備されたものであり、遊具等の老朽化が見られる。
- 犯罪防止の環境づくりのため、主要な都市公園における防犯カメラの設置や公園灯のLED化を進めている。
- 都市公園やちびっ子広場の適正管理や、市民ニーズに応じた利用形態が求められている。
- 小学校等で実施される環境学習や、自治会等でのコミュニティ形成を目的とした活動など、多様な公園利用がなされているケースが見受けられる。
- 市民アンケートでは、居住地周辺で風景観賞や健康づくりのほか、公園の多様な利用形態が求められている。

【課題】都市公園等のマネジメントの検討

本市の魅力を高める「都市の森」として、自然とのふれあい、健康づくり、地域コミュニティの形成、避難地としての機能充実とアクセスの確保や安全・安心な利用環境の確保などを進めるため、市民との協働による計画づくりや、公園公募設置管理制度の活用による公園整備を進めるとともに、市民主体による公園の維持管理方法を検討するなど、地域ニーズに応じた公園のマネジメントが求められる。

また、今後益々公園施設の老朽化が進行することによる維持管理費の増加が予想されることから、都市公園等の適正配置や機能集約による更なる機能の充実を図るとともに、公園施設の長寿命化により、機能保全とライフサイクルコストの縮減に努める必要がある。

③学校グラウンド、公共公益施設等

- 市内の学校は、公立学校（小学校 24 校、中学校 12 校、高校 3 校）が適正に配置されるとともに、学校法人（摂南大学、大阪電気通信大学、大阪府立大学工業高等専門学校、同志社香里中学・高校、香里ヌヴェール学院中学・高校）が立地しており、災害時の避難場所やイベントの実施、市街地内の貴重なオープンスペース、または施設内の植樹など、みどりとしての機能が確保されている。
- 市役所や公民館、体育館、図書館、市民交流センター、供給処理施設などの公共公益施設が存在する。
- 公共施設においては、市民との協働による花いっぱい植栽事業、フラワーボックス貸出事業による緑化や、公共施設植栽事業によるみどりづくりを推進している。

【課題】学校グラウンドなどにおけるみどりづくりの推進

学校グラウンドなどのオープンスペースを有効に活用するため、学校と地域とが連携したみどりづくりを推進する機会の創出や、継続的な維持管理が可能となるよう、みどりの保全・育成に関する知識や資機材の提供などを検討する必要がある。

【課題】植栽事業などによるみどりづくりの推進

公共公益施設における植栽事業や府緑化樹配布事業などによるみどりづくりの更なる推進が求められる。

④緑道(友呂岐緑地など)

- 友呂岐緑地の桜保全事業や、サクラプロジェクトによるサクラの保全や植樹が行われ、サクラをテーマとしたまちづくりを推進している。
- 散策やジョギングの場としても活用され、身近なレクリエーションの場となっている。

【課題】人々の交流を促すみどりとしての充実

桜並木などを有する緑道は、水とみどりによるまちなかの自然空間を形成するとともに、これらのうるおいある空間を通じて市民にやすらぎと潤いを与える貴重な資源であることから、今後も更なる人々の交流を促すみどりとして充実させることが求められる。

⑤幹線道路とその沿道地のみどり

- 市民アンケートでは、街路樹は守るべき・増やすべきみどりとして市民に捉えられている。
- 広域連携軸や地域連携軸を中心とした幹線道路沿道では、周辺環境や景観に配慮しつつ、沿道サービス施設や工業流通業務施設などの立地誘導に努めている。
- 駅につながる道路整備を推進する中で、都市計画道路対馬江大利線や東寝屋川駅前線の整備に努めている。
- 国道1号や第二京阪道路では、「みどりの風の道の形成」に向けた取り組みが行われている。

【課題】街路樹などによるみどりの保全と創出

街路樹は、沿道住民からの苦情などにより強剪定など行わざるを得ないことがあり、樹木が有する美しい樹形の喪失、樹勢の衰えなどが見られるが、これらを適正に保全するとともに、新たに整備される幹線道路などにおける植樹を行うなど、沿道土地利用や歩道幅員に配慮しつつ、出来る限り緑陰空間の形成に努める必要がある。

【課題】幹線道路沿道におけるみどりとオープンスペースの充実

「みどりの風促進区域」や「景観重点地区」に位置づけられている国道1号や第二京阪道路などの幹線道路の沿道において、道路植栽や沿道施設や店舗等、公共用地・民有地を問わずみどりとオープンスペースの充実を推進することが求められる。

⑥河川・水路

- 一級河川寝屋川沿いでは、寝屋川再生ワークショップ(ねや川水辺クラブ)との協働により、寝屋川市駅西側の親水空間や幸町公園、川勝水辺広場などが整備されるなど、市街地内の貴重な水辺空間が形成されている。
- 水辺環境の整備と保全を図るため、古川水路の浚渫を計画的に進めている。

【課題】水辺とふれあう空間の充実

市民との協働により策定された「寝屋川市水辺基本構想」の実現に向けた取組を継続し、寝屋川、古川、友呂岐水路、幹線水路、二十箇水路、打上川など水辺とふれあう空間の確保とネットワークの更なる充実が求められる。

【課題】水路の環境・景観面からの改善

西部地域を中心に張り巡らされている水路について、内水対策における浚渫や改修を進めるとともに、周辺の土地利用状況などに応じて自然護岸を創出するなど、水路沿いの緑化や修景、水質改善など進めることにより、市民に親しまれる水辺空間の創出が求められる。

⑦住宅地(全般)のみどり

- 既成市街地では、住宅敷地内の空間や公園緑地等のオープンスペースが限られるため、駐車場や生垣緑化を促進するなど、まちなかのみどりの環境形成に努めている。
- 市内各所に存在する空き家対策の検討を進めている。
- 太陽光発電システム設置補助制度の市内全域の自治会集会所での拡充や、LED照明等による省エネルギーの推進、みどりのカーテンなどの緑化事業等、ヒートアイランド対策に係る施策を継続的に実施している。

【課題】住環境の改善と合わせたみどりの環境形成

ゆとりある都市居住空間の形成を目指す中で、建物の新築や建て替えなどに伴う民有地緑化を推進するなど、まちなかのみどりの充実が求められる。

【課題】環境対策と生活環境の改善の両立

環境対策として地球温暖化の緩和に取り組むとともに、みどりによる生活環境の改善を図り、市民にとって暮らしやすい環境形成が求められる。

【課題】空き地を活用した新たなみどりの創出

空き家の除却を促進することにより、安全・安心な住環境の形成を図るとともに、空き地の有効活用による新たなみどりの創出方法を検討する必要がある。

⑧商業・業務地のみどり

- 鉄道4駅周辺地域は、本市の都市核として地域特性に応じたまちなかにぎわいと活力ある空間づくりに取り組んでいる。
- 萱島駅構内のクスノキや寝屋川市駅西側の親水空間などのシンボルとなるみどりを活かした景観形成などに取り組んでいる。

【課題】人が集まる空間としてみどりを充実

鉄道4駅周辺地域においては、人が集まる空間であることから、市民の目につきやすい建物や空間のみどりなど、まちのシンボルや都市の顔となる緑化空間の充実が求められる。

【課題】市の玄関口にふさわしい都市景観の形成

鉄道4駅では、市景観計画による取り組みとの連携を図りつつ、本市の各地域における玄関口としてふさわしい都市景観と一体となった美しいまちなみの形成が求められる。

⑨住工共存地のみどり

- 寝屋川市の西部や南部には、準工業地域として指定されている地域が存在する。
- 都市活力を支える工場等の操業環境と住環境の調和を目指した市街地の形成に取り組んでいる。
- 近年の工場撤退などによる住宅地への建て替えが進んでいる。

【課題】工場敷地等のみどりの充実・活用

民間事業者の工場敷地におけるまとまりのあるみどりは、地域における貴重な資源であるため、これらの充実を図るとともに、地域に親しまれるみどりとして活用することが求められる。

【課題】住工共存地域における操業環境と居住環境の調和

工場や事業所に住宅地などが近接していることから、周辺の景観や環境に配慮した土地利用を誘導する中で、工場敷地における緑化や、住宅地への転換時における新たなみどりを創出するなど、操業環境と居住環境が調和したまちなみの形成が求められる。

3. みどりの創出

①都市公園等(住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場)

○住区基幹公園等は市内に充足するように都市計画決定されているが、事業が未着手の公園が存在する。

【課題】長期未着手の都市計画公園における必要性の検討

社会情勢が変化中、地域の多様なニーズを踏まえ、既存のみどり資源の充実などによる代替手法の活用により地域のみどりを確保し、機能を維持した上で、長期未着手の都市計画公園の必要性について検討する必要がある。

②密集住宅地区のみどり

○市域には、京阪本線の3駅(寝屋川市駅、香里園駅、萱島駅)周辺に密集住宅地区が形成されており、狭隘な生活道路や木造住宅の建てづまりなど防災上の課題を有する地区が存在しており、主要生活道路の拡幅や共同協同建て替えの促進、空き家の除却などを進めている。

【課題】オープンスペースの確保

密集住宅地区内では、十分なオープンスペースが存在しないことや、延焼遮断施設が希薄なことなどから、主要生活道路の拡幅や建物の不燃化による災害に強いまちづくりを進める中で、公園、広場などのオープンスペースを確保するなど、不燃領域率を高める必要がある。

【課題】空き地を活用した新たなみどりの創出

空き家の除却を促進することにより、安全・安心な住環境の形成を図るとともに、空き地の有効活用による新たなみどりの創出方法を検討する必要がある。

③まちづくり計画におけるみどり

○京阪本線の連続立体交差事業の推進や対馬江大利線の整備、東寝屋川駅周辺のまちづくりが進められている。

○寝屋川市景観基本計画、景観計画を踏まえ、4駅周辺や国道170号、第二京阪道路沿道などにおける景観形成に努めている。

【課題】計画的なまちづくり事業や景観計画等と連携したみどりの創出

駅周辺における市街地開発事業や、駅につながる街路整備などとあわせて、市街地における新たなみどりやオープンスペースを創出することや、シンボルとなる景観形成を図るなど、まちづくり関連事業との連携によるみどりづくりが求められる。

4.みどりのネットワーク

①水辺空間や歴史街道を活かしたネットワークの充実

- 市街地における水辺空間は、市民にうるおいと安らぎを与える空間として存在し、生物の生息・生育環境として連続性があることから、みどりをつなぐネットワークを形成する貴重な資源である。
- 京街道や東高野街道をはじめ、市内には歴史文化資源、みどりの資源を結ぶ歴史街道や文化財、寝屋などに残る歴史あるまちなみが存在している。
- 歴史街道とつながるようにウォーキングルートなどが整備され、市民レクリエーションの場としても利用されている。

【課題】河川等のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実

河川等の水辺空間は、生物の生育・生息環境や都市景観の形成、または水辺とのふれあいなど多様なみどりとしての機能を有することから、周辺市を含めた連続性も十分に踏まえつつ、市民に親しまれる水辺空間として保全することにより、水とみどりのネットワークとしての更なる充実が求められる。

【課題】歴史・文化とともに共存するみどりのネットワークの充実

本市が有する歴史文化資源や旧街道を活かしたウォーキングルート等を踏まえ、歴史・文化と共に存在するみどりのネットワークの充実が求められる。

②主要な幹線道路によるネットワークの充実

- 市内には、広域連携軸である第二京阪道路、国道1号（寝屋川バイパス）、国道163号、国道170号、主要地方道茨木寝屋川線や、地域連携軸である主要地方道京都守口線、主要地方道枚方交野寝屋川線、主要地方道枚方富田林泉佐野線、主要地方道八尾茨木線などの幹線道路が通過している。
- 広幅員道路は、災害時、避難地への避難路や延焼遮断帯としての役割を有している。
- 街路樹は守るべき・増やすべきみどりとして市民に捉えられている。

【課題】主要な幹線道路によるみどりのネットワークの充実

主要な幹線道路は、市内に有する大規模な公園緑地やみどりの資源をつなぐネットワークを形成する軸となり、みどりの連続性や風が抜ける空間としての機能を発揮するとともに、避難地へのアクセスや空間形成などの道路機能を有することから、これらの機能維持や新たな道路整備に伴うネットワークの更なる充実が求められる。

③サクラ街道による新たなネットワークの創出

- 鉄道4駅を拠点として、市内の桜の名所へのルートを桜街道としてつなげる「サクラ☆プロジェクト」の取り組みがなされている。
- 友呂岐緑地における桜保全事業や、サクラプロジェクトによるサクラの保全や植樹が行われ、サクラをテーマとしたまちづくりに資する水と緑のネットワークの形成を推進している。

【課題】サクラ☆プロジェクトの推進によるみどりのネットワークの形成

シティプロモーションの一環として取り組むサクラ☆プロジェクトによる市内4駅を拠点としたサクラ街道を整備するなど、新たなみどりのネットワーク形成を一層推進することが求められる。

5. 協働のみどり

①市民等との協働によるみどりづくり

- 人口減少や市民ニーズの多様化などで地域を取り巻く環境が変化するなか、みんなで支えあって助け合える、つながりの深いまちをつくるために平成 25 年 3 月に「寝屋川市地域協働推進プラン」を策定し、「地域協働」の取り組みを進めている。
- 公園花壇の植栽サポーター制度(旧散歩道推進事業)、花いっぱい植栽事業などが実施され、市民協働による公共施設やまちかどの緑化を展開している。
- 市民の身近な公園における清掃などの美化活動を促進するため、「公園愛護会報償金支給要綱」にもとづく報償金や清掃用具の支給を実施しており、平成 28 年度末現在で 170 公園、101 団体が活動するとともに、府営公園においても市民等によるボランティア活動が行われている。
- 寝屋川再生ワークショップ(ねや川水辺クラブ、摂南大学など)や大利公園などにおける市民との協働による計画づくり、または市民が主体となった公園管理など、市民協働、市民主体によるみどりに関する取り組みが広がりつつある。
- 市民アンケート結果では、「みどりに関する活動団体や場所」についての認知度は低いが、自治会などを中心として市内一円でみどりに関する活動が営まれていることが見られる。

【課題】市民等との協働によるみどりづくりの充実

現行計画に基づいてこれまでに実施してきた市民等(自治会、市民活動団体、学校などを含む)との協働によるみどりづくりの事例を活かして、市域全体における取り組みをより一層充実させる必要がある。

【課題】みどりに関わるきっかけづくりや仕組みの構築

自宅での植栽や、地域コミュニティの醸成などに貢献する道路、公園、河川などの公共施設における清掃活動のほか、様々な情報提供をはじめ、地域が有する資源を踏まえたみどりの活動場所や資材等の提供、または技術的な支援を行うことにより、市民等がみどりと関わりやすい環境づくりとともに、その仕組みを構築することが求められる。

②企業との協働によるみどりづくり

○事業者アンケートでは、みどりに関する取り組みのきっかけとして、「地域住民や行政との連携に関する支援」や「みどりに関する取り組み事例などの情報提供」が求められている。

【課題】みどりを通じた地域への社会貢献のしくみの検討

民間事業者の工場敷地におけるまとまりのあるみどりは、地域における貴重な資源となっている。地域に親しまれるみどりとしての活用や、大規模敷地におけるみどりづくりを促進するため、企業 CSR などの社会貢献活動として、事業者等が操業地域や市内各所のみどりにかかわるしくみづくりや、その活動場所の提供が求められる。

【課題】住工共存のまちなみ形成とあわせた地域コミュニティの形成

民間事業者等の社会貢献活動などによる地域のみどりづくりの促進と、工場や住宅敷地内における緑化を進めるなど、地域と一体となったみどりに関する取り組みを進めることにより、更なる地域コミュニティを形成することが求められる。

③学校法人等との協働によるみどりづくり

○学校法人等との包括連携協定を活用した取組を推進することによる地域産業の活性化、地域課題の解決などを図るとともに、連携先の拡充検討を進めている。

【課題】学校法人等と連携した地域の拠点となるみどりの創出

学校法人等との連携を図る中で、新たなみどりづくりの担い手の育成や、学校敷地等におけるみどりづくりを促進するなど、地域の拠点となるようなみどりの創出が必要である。

④多様な主体との連携によるみどりづくり

○市民、事業者アンケートでは、みどりに関する取り組みのきっかけとして、「みどりに関する活動を広く周知するための PR」や「地域住民や行政との連携に関する支援」、「みどりに関する取り組み事例などの情報提供」が求められている。

【課題】多様な主体との連携を図るしくみの検討

市民、事業者等との協働、共助によるみどりづくりを推進するためには、情報提供や活動の PR はもとより、各者が連携、一体となって取り組む必要があることから、多様な主体との連携が可能となるしくみを構築することが求められる。

⑤みどりの普及・啓発活動

- 友呂岐緑地の桜保全事業や、サクラ☆プロジェクトによるサクラの保全や植樹が行われ、サクラをテーマとしたまちづくりに資する水と緑のネットワークの形成を推進している。
- 打上川治水緑地では、毎年寝屋川まつりや農業まつりなどの各種イベントが開催されるとともに、平成 28 年度より、寝屋川市サクラ☆プロジェクトによる遊歩道沿いの桜のライトアップが開催されるなど、まちの魅力向上を図るシティプロモーションに取り組んでいる。
- 環境意識の醸成を目的として毎年開催するエコフェスタや、市内 6 カ所のコミュニティセンターにおいて実施している「市民緑化教室」において、花木の苗の配布や専門家による育て方に関する講義を実施するなど、市民が身近で実践できるみどりづくりの啓発を実施してきた。

【課題】桜などのみどりを活用したシティプロモーションなど、市の魅力や都市格の向上

市全体で取り組むサクラの保全・整備に関する取り組みの継続実施により、市民や市外からの来訪者にとって印象的なみどりの更なる創出が求められる。

【課題】環境改善やみどりの保全育成に関する市民意識の醸成

既存のイベントなどを通じて、市民がみどりにかかわる機会を設けるなど、市民意識の醸成を図り、みどりのまちづくりの取り組みを一層広げることが求められる。

課題図



みどりの保全

- ① 淀川(淀川河川公園)
- ② 河川・水路
- ③ 東部丘陵など市内に残存する樹林地
- ④ 大規模公園等(総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地)
- ⑤ 社寺林・保存樹
- ⑥ 旧集落地
- ⑦ 歴史街道など
- ⑧ 良好な住宅地のみどり
- ⑨ 農地
- ⑩ ため池

みどりの充実

- ① 大規模公園等(総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地)
- ② 都市公園等(住区基幹公園、その他都市公園、ちびっこ広場)
- ③ 学校グラウンド、公共公益施設等
- ④ 緑道(友呂岐緑地など)
- ⑤ 幹線道路とその沿道地のみどり
- ⑥ 河川・水路
- ⑦ 住宅地(全般)のみどり
- ⑧ 商業・業務地のみどり
- ⑨ 住工共存地

みどりの創出

- ① 都市公園等(住区基幹公園、その他都市公園、ちびっこ広場)
- ② 密集住宅地区のみどり
- ③ まちづくり計画におけるみどり

みどりのネットワーク

- ① 水辺空間や歴史街道を活かしたネットワークの充実
- ② 主要な幹線道路によるネットワークの充実
- ③ サクラ街道による新たなネットワークの創出

協働のみどり

- ① 市民等との協働によるみどりづくり
- ② 企業との協働によるみどりづくり
- ③ 学校法人等との協働によるみどりづくり
- ④ 多様な主体との連携によるみどりづくり
- ⑤ みどりの普及・啓発活動